

日刊 動労千葉

86. 1. 10

No. 2136

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六（公衆）〇四七二二七二〇七

熱気あふれる 青年部旗ひらき

第二波の先頭にたつ



反対同盟が 旗ひらき(1/5)

三月「三里塚」国鉄決戦に共に撃ち出よう！
一月五日、反対同盟は岩山記念館で八六年団結旗ひらきを開催し、成田用水実力粉碎・東峰裁判勝利を軸に、二期実力阻止決戦突入の戦闘宣言を發した。年頭の挨拶にたった北原事務局長は、「闘いは真の正念場。八六年こそ反対同盟が全人民的決起の先頭にたつて中曽根を打倒し、二期着工を粉碎する年だ」と決意を明らかにした。動労千葉からは、水野・山口両副委員長、布施書記長、繁沢副青年部長、杉本青年部書記長はじめ多数の組合員が参加し、処分攻撃を粉碎し第二波闘争に確信高く撃ち出る決意をあきらかにした。労農連帯の旗のもと、一月三日「三里塚」国鉄決戦」に共に撃ち出よう！



動労千葉青年部は、一月七日、動力車会館に八十名の青年部員を結集し団結旗開きを開催した。各支部から参加した青年部員は、八五年の偉大な第一波ストを最先頭で担い抜いた誇りと、八六年のより激しい決戦の突入に気を引きしめ、正月気分を一掃して、不当処分粉碎、「61・3」大合理化粉碎の第二波闘争に決起することを誓いあった。

第一波ストで中曽根打倒の 現実性きりひらいた

—新藤青年部長あいさつ—

第一部では、岩立常任の司会で始まり、新藤青年部長あいさつ、来賓あいさつ、本部常任委員の決意表明が行われた。

新藤青年部長は、昨秋の十・二〇から十一・二八の二九ストライキを頂点とする八五年の大勝利を中曽根打倒の現実性、「分割・民営化」粉碎、国鉄ゼネストへの展望を拓いたものとして総括、八六年は、八五年を上回る最大の決戦の年、八〇年代後半戦の始まりの年としてますます階級闘争が激化する、この中で必ず中曽根を打倒しなければならぬと提起。

さらに、中曽根と一心同体化した動労革マル松崎を打倒するとともに、当面する不当処分粉碎・「61・3」検修合理化、仕業移管攻撃粉碎に向け、あらゆる弾圧を打ち破り、第二波ストライキの先頭に青年部が立つことを熱く提起した。

来賓の方々より 共に闘う決意うける

来賓として本部から水野副委員長、反対同盟青年隊の伊藤さん、中江船橋市議、国労青年部の仲間が出席され、それぞれの方々よりあいさつをう

第二波貫徹へ全支部青年部 活動者会議の成功かちとれ

第二部は、鈴木常任の音頭による乾杯ではじまり、のどをうるおした後、各支部青年部長の決意表明に入っていた。

どの青年部長も十一・二八のストライキの勝利に自信と確信を持ち、決戦の八五年の闘いを最先頭で闘うとの決意を表明した。最後に組合歌合唱をもって大成功のうちに旗開きを終了した。

青年部は旗開きを期して、「61・3ダイ改」、検修大合理化粉碎、仕業移管阻止、反合・運転保安確立をかかげた第二波ストライキの貫徹へ最先頭で闘う。

そのためにも、一月二五～二六日の全支部活動者会議の圧倒的成功をかちとる。

